



精密工学会九州支部ニュース

第 11 号

2006 年 3 月

2006年九州支部の活性化を目指して

精密工学会九州支部長 安井平司

1. 九州における生産活動と精密工学会九州支部の役割

九州の産業には、製鉄・造船等が古くから大きな役割を果たしてきました。その後、半導体企業の生産工場が多数立地され、シリコンアイランドと呼ばれるようになり、また、近年は、これに加えて、カ - アイランドという名称がつけられるようになりました。トヨタ・日産・ホンダ・ダイハツ等の多くの自動車メ - カならびにそれらに関連する多数の企業の生産工場や下請け企業が新たに出来たためです。

製鉄・造船、半導体、車のいずれにせよ、生産には精密生産技術が必要不可欠で、その技術水準が、製鉄・造船、半導体、車の性能に関係する一方で、生産価格に大きく影響し、企業利益に直接関わってきます。このため、企業は、技術向上に大きな力を注いでいるはずですが、九州における生産を考えると、韓国・中国と近く、単なる生産価格比較では、人件費などの点で遙かに及ばず、九州内企業は、生産競争を生き抜くことは容易ではありません。技術水準を上げ、高品位生産を、相対的に低価格で成し得るようにすることが肝要です。精密生産技術は、近年大きな進歩を遂げていますが、それは、多くの基礎的・応用的な研究成果によるもので、一朝一夕には、その技術向上は出来ません。このため、不断の努力をもって技術向上が計られています。

精密工学会は、会員 7,000 名に近い世界最大の精密生産技術に関係する技術者・研究者の集団で、「モノづくり技術の KEY - 学会」があります。その研究成果は、これまでも、半導体や車はもちろんのこと、その他の多くの機器の生産に多大の貢献をしてきております。

精密工学会九州支部は、創立 45 年を越えましたが、この間、九州の生産活動に一定の役割を果たしてきました。この観点からしますと、現在の生産活動では、精密生産技術が、従来に増して大きな役割を果たすようになってきているので、精密工学会九州支部への期待は、益々大きくなっていることが考えられます。しかし、バブルが崩壊して以来、支部の賛助会員は大きく減少し、特に、近年の減少は大幅なものであります。企業在籍正会員の学会活動も低迷化しています。「モノづくり技術の KEY - 学会」として、産業との関係を見直し、九州の産業力向上のために、大きな役割を果たし得るようにすることが急務であると思われれます。

近年、日本の大学・高専において「加工技術」に関する研究室が減少する中で、九州には、まだ、ほとんどの大学において、「加工技術」に関係する研究室があります。これらの研究室での研究は、精密生産技術の大きなシ - ズであり、九州内企業のニ - ズと結びつけることが、学会の活性化と九州内企業技術力の向上に結びつけ得るものと考えられます。

2. 九州支部の活性化のために

上記のような観点のもとに、九州支部の活性化方策を立案しました。

1) 支部組織の改正

- (1) 支部戦略会議・賛助会員の設置等
- (2) 学会規約改正による商議員数の増加(25 名より 40 名に拡大)
- (3) その他、産官学連携強化に関する事項

2) 「九州モノづくり技術の伝承と創成に関する研究分科会」の設置(支部ホ - ムベ - ジで会員募集中)

九州内での産官学連携の方策を検討するために、支部会員に加えて、関連する企業約 450 社に、技術シ - ズとニ - ズのアンケート調査を実施致しました(結果は、支部ホ - ムページに掲載)。その結果をもとに、標記の分科会を、平成 17 年 11 月 12 日に鹿児島高専で開催された、精密工学会九州支部の総会での承認のもとに、標記分科会を設置しました。設置の趣旨は次の通りです。

「日本におけるモノづくり技術の伝承は、団塊の世代の引退が進むことにより大きな問題になっている。加えて、近隣諸国などの技術向上に伴い、新しいモノづくり技術の創成は、緊急の課題である。本分科会は、この観点から、九州という地域に範囲を限っているが、技術の伝承と創成の課題に取り組み、学会としての役割を果たすことを目的として設置する。」

3) 支部学術講演会の地区輪番制の決定

支部が従来行っておりまして、中国四国支部との共催講演会を廃止し、九州各県の輪番で、支部学術講演会を出来るだけ早く各県に回るようにし、各県での活性化を目指します。ちなみに、2006 年度(北九州)、2007 年度(長崎)、2008 年度(福岡)の順に、回る予定です。

4) 産官学技術交流セミナーの実施(詳細後述)

技術シ - ズとニ - ズのアンケート調査をもとに、第 1 回産官学交流セミナー - を実施しました。

5) ミニ講習会の実施

従来の講習会とは異なり、支部役員が小さな集まりに出向き講演をすることにより、支部を理解頂き、会員増加を計ろうとするものです。(長崎県・宮崎県で実施済み)

6) その他

活性化に向けて、支部表彰規定の変更や大型予算の獲得等、現在検討中の事項があります。

3. むすび

社会は大きく変革しつつあります。九州支部も、九州の生産活動への寄与や次代の精密工学研究教育環境の醸成を始め、多くの活動に積極的・能動的に参加していくことが重要になってきています。会員の知恵と力を集め、支部の活性化を進めようではありませんか。

新・賛助会員の紹介

大塚精工株式会社

<http://www.otsuka-pr.co.jp/>
 福岡県糟屋郡志免町別府 1102-5

大塚精工株式会社は、セラミック精密加工を中心とした、各種治具や自動機、金型などを設計・製造する企業です。セラミックの精密加工に関する技術水準は非常に高く、それらは先端技術を持つ若い、元気な職人技に支えられております。従業員数 95 名におきまして、20 代および 30 代の技術者が大半を占め、日々、新たな加工に取り組んでおります。本社工場の設備は、セラミック加工用工作機械が 21 台、金属加工用工作機械が 89 台、測定機器は 42 台と多数を現有しており、1 人の技術者が複数台を使いこなして、稼働率を上げております。どんなに良い機械を使っても、最後は人間力が重要であることから、職工ではなく職方を目指すエンジニアを養成する精神で邁進しております。



大塚 博 代表取締役



加工されたセラミックスと製品の一例

~~~~~

### 櫻井精技株式会社

<http://www.sakuraiseigi.co.jp/>  
 熊本県八代市岡町谷川 135

櫻井精技株式会社は、自動機械装置を設計・製造する企業です。機械製作のみならず、それら機械システムを制御することまで総合的に構築する技術を有しております。八代の蘭草畑の中から世界に誇れる技術を発信しています。従業員数 260 名の大半が、20 代の技術者であり、ここ数年で非常に急成長を遂げております。本社工場の設備として、90 台近くの工作機械と多数の測定機器を現有しています。製品作りにおける基本的な考え方は、技術(Hardware)・技能(Skill-ware)・科学(Software)の三身一体を目指しています。そして、社員のチームワークで、あらゆる難題を乗り越えて、バランスの良い、製品造りに取り組んでいます。



櫻井 一郎  
 代表取締役 社長



本社事務所および工場概観  
 (左手前が蘭草畑の一部)

# 2005年度 九州支部講演会・総会

精密工学会九州支部主催の2005年度支部講演会および学生研究発表会が、盛大に開催されました。また、精密工学会本部理事の帯川利之氏を講師としてお招きし、特別講演会が行われました。

## 【 学術講演会・学生研究発表会 】

期 日：平成 17 年 11 月 12 日（土）

場 所：鹿児島工業高等専門学校

講演件数：学術講演会（58 件）、第 6 回学生研究発表会（21 件）

## 【 特別講演会 】

題 目：『難削材の高速・高能率加工を目指して』

講 師：精密工学会理事・東京工業大学教授 帯川 利之氏



## 【 総会 】

2005 年度精密工学会九州支部総会を開催し、事業報告・会計報告がなされ、2006 年度商議員および支部規約改正が承認されました。また授賞式も執り行われました。

## 【 功労賞 】

功労賞は、支部の活動に多大な貢献をし、支部の発展に顕著な功労のあった支部の会員に対して、その努力と功労に報いるために 5 年ごとに贈賞しています。今年度はその年にあたり、下記の方々に贈られました。

| 所属                  | 氏名 (敬称略) |
|---------------------|----------|
| 九州大学                | 鬼鞍宏猷     |
| 前(株)ノリタケスーパーアブレーション | 河端則次     |

## 【 奨励賞 】

奨励賞は、精密工学の領域で創造的業績を上げた若手の研究者・技術者に対して、その精進と努力に報い、かつ将来の発展を期待して贈賞しています。今年度は、下記の方に贈られました。

| 所属          | 氏名 (敬称略) |
|-------------|----------|
| 職業能力開発総合大学校 | 澤 武一     |

## < 第 6 回学生研究発表会 ベストプレゼンテーション賞 受賞者 >

第 6 回学生研究発表会（平成 17 年 11 月 12 日開催）のベストプレゼンテーション賞は、下記の方々に決定いたしました。

| 所属      | 氏名   |       |
|---------|------|-------|
| 熊本大学工学部 | 鬼木 真 |       |
| 熊本大学工学部 | 遠山 朗 | (敬称略) |



# 精密工学会九州支部 第1回産学官技術交流セミナー 開催

〔高速・高精度加工とそれを支える基盤技術の最新動向〕

精密工学会九州支部では九州各県の企業に、“モノづくり”に関わるアンケート調査を実施し、表記テーマでの産学官技術交流セミナーを企画しました。大学・高専ならびに公設研究機関が所有する固有の技術についても参加企業の方々との交流の場となりました。

- 期 日：平成 18 年 1 月 27 日（金）  
 会 場：福岡工業大学  
 協 賛：福岡県，福岡県工業技術センター，佐賀県工業技術センター，  
 長崎県工業技術センター，熊本県工業技術センター，  
 宮崎県工業技術センター、沖縄県工業技術センター，  
 精密工学会九州精密技術研究会  
 講 演：日産自動車(株) 戸澤 幸一  
 「自動車用金型における高速・高精度加工技術の現状」  
 パナソニックエレクトロニクス(株) 上田修治  
 「デジタルネットワーク時代のキーデバイスにおける高速・高精度加工技術  
 の現状」  
 安田工業(株) 大坪 寿  
 「高速・高精度加工に用いる工作機械の現状と動向」  
 (株)不二越 飛弾野文英  
 「金型、高硬度材能率加工から超精密加工」  
 オーエスジー(株) 今泉英明  
 「高速・高精度加工を支える cBN 工具」  
 日本タグステン(株) 今里州一  
 「耐摩・耐食超硬合金の開発」  
 ポスターセッション：九州における精密生産技術研究シーズの紹介--- (25 件)



(講演会)

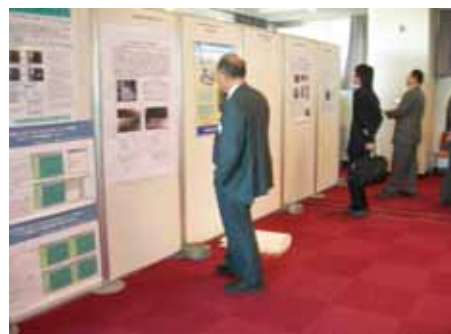


(講演会)

午後開催されたポスターセッションでは、11社の企業と大学・高専・県工業技術センターなど公設機関から合わせて、25件出展されました。会社の概要や研究内容、商品の説明等の発表がなされ、盛大かつ有意義な交流の場となりました。



(ポスターセッション)



(ポスターセッション)

# 2005年度 精密工学会九州支部 事業および会計報告

・事業報告（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

## 1. 総会・役員会

- |          |                                             |
|----------|---------------------------------------------|
| (1) 総会   | 期 日：平成 17 年 11 月 12 日（土）<br>会 場：鹿児島工業高等専門学校 |
| (2) 商議員会 | 期 日：平成 17 年 11 月 12 日（土）<br>会 場：鹿児島工業高等専門学校 |
| (3) 幹事会  | 全 5 回                                       |

## 2. 行 事

- |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 学術講演会 | 2005 年度精密工学会九州支部 鹿児島地方学術講演会<br>期 日：平成 17 年 11 月 12 日（土）<br>会 場：鹿児島工業高等専門学校<br>講演件数：58 件                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| (2) 特別講演会 | 2005 年度精密工学会九州支部 特別講演会<br>『難削材の高速・高能率加工を目指して』<br>講 師：精密工学会理事・東京工業大学教授 帯川 利之氏<br>期 日：平成 17 年 11 月 12 日（土）<br>会 場：鹿児島工業高等専門学校                                                                                                                                                                                                                                                            |
| (3) 学生発表会 | 2005 年度精密工学会九州支部「第 6 回学生研究発表講演会」<br>期 日：平成 17 年 11 月 12 日（土）<br>会 場：鹿児島工業高等専門学校<br>講演者数：21 件                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| (4) セミナー  | 精密工学会九州支部産学官技術交流セミナー<br>『高速・高精度加工とそれを支える基盤技術の最新動向』<br>期 日：平成 18 年 1 月 27 日（金）<br>会 場：福岡工業大学<br>共 催：福岡県・福岡県工業技術センター・佐賀県工業技術センター<br>長崎県工業技術センター・熊本県工業技術センター・宮崎県工業技術センター<br>沖縄県工業技術センター・精密工学会九州精密技術研究会<br>講 演：日産自動車(株) 戸澤 幸一 氏<br>パナソニックエレクトロニクス(株) 上田修治氏<br>安田工業(株) 大坪 寿氏<br>(株)不二越 飛弾野文英氏<br>オーエスジー(株) 今泉英明氏<br>日本タグ スパン(株) 今里州一氏<br>ポスターセッション：九州における精密生産技術研究シーズの紹介（25 件）<br>参加者数：102 名 |

・会計報告（平成 17 年 2 月 1 日～平成 18 年 1 月 31 日）

## 1. 収 入

|                                  |                   |
|----------------------------------|-------------------|
| 1) 前期より繰越金 .....                 | 5 3 7 , 5 7 7     |
| 2) 平成 16 年度支部補助金 .....           | 8 8 2 , 5 9 0     |
| 3) 利息 .....                      | 1 6               |
| 4) 学術講演会・学生発表会（参加費・論文集代金等） ..... | 3 5 0 , 0 0 0     |
| 5) 懇親会費（参加費） .....               | 1 3 2 , 0 0 0     |
| 6) セミナー（参加費・テキスト代金等） .....       | 8 3 9 , 0 0 0     |
| 7) 特定資産取崩収入 .....                | 1 , 0 0 1 , 9 3 3 |

計 3, 7 4 3 , 1 1 6 円

## 2. 支 出

|                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1) 会議費（総会・商議員会） .....      | 2 6 4 , 9 3 0 |
| 2) 学術講演会・学生発表会 .....       | 5 0 7 , 2 9 0 |
| 3) 懇親会費 .....              | 2 6 1 , 1 7 7 |
| 4) セミナー .....              | 8 3 1 , 2 5 2 |
| 5) 印刷・通信費 .....            | 2 6 , 8 3 0   |
| 6) 消耗品費 .....              | 1 1 , 2 1 1   |
| 7) 出版費 .....               | 7 5 , 6 0 0   |
| 8) 人件費 .....               | 2 8 0 , 0 0 0 |
| 9) 旅費・交通費 .....            | 1 0 1 , 0 0 0 |
| 10) 雑費（残高証明書・振込手数料等） ..... | 7 3 5         |

計 2, 3 6 0 , 0 2 5 円

3. 差引残高..... 8 4 5 , 5 1 4 円

# お知らせ

## 2006年度(第46期)精密工学会九州支部商議員

支部長:鈴木裕(九州工業大学), 副支部長:仙波卓弥(福岡工業大学)・峠 睦(熊本大学)

庶務幹事:坂本重彦(熊本大学), 会計幹事:河野良弘(鹿児島工業高等専門学校)

商議員:

|                     |                       |              |
|---------------------|-----------------------|--------------|
| 大塚裕俊(大分県産業科学技術センター) | 大西修(九州大学)             | 扇谷保彦(長崎大学)   |
| 甲木昭雄(九州大学)          | 川下智幸(佐世保工業高等専門学校)     |              |
| 岸次男(三菱重工業株)         | 吉川浩一(九州工業大学)          | 木下和久(大分大学)   |
| 清田宏(北九州工業高等専門学校)    | 斎藤宏昭(福岡県工業技術センター)     |              |
| 櫻木功(久留米工業高等専門学校)    | 佐藤郁(パナソニックコミュニケーション株) |              |
| 高橋孝誠(熊本県工業技術センター)   | 瀧内直祐(長崎県工業技術センター)     | 張 波(佐賀大学)    |
| 外山真也(宮崎県工業技術センター)   | 永倉寛巳(佐賀県工業技術センター)     | 中西勉(宮崎大学)    |
| 早坂謙司(株)リクス・パ・アプレシア) | 開 豊(八代工業高等専門学校)       | 松本一弥(東陶機器株)  |
| 三澤祥一(福岡県工業技術センター)   | 水垣善夫(九州工業大学)          | 村田健一(株)安川電機) |
| 銘苅春栄(琉球大学)          | 森川敏郎(西部電機株)           |              |
| 森田春美(鹿児島県工業技術センター)  | 安井平司(熊本大学)            |              |

「九州モノづくり技術の伝承と創成に関する研究分科会」への参加ご入会のお願い

1. 分科会名称:精密工学会「九州モノづくり技術の伝承と創成に関する研究分科会」  
主 査:熊本大学教授 安井平司
2. 設置場所 :〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1  
熊本大学工学部機械システム工学科内  
精密工学会九州支部内  
TEL&FAX 096-342-3762  
E-mail : jspeB@mech.kumamoto-u.ac.jp
3. 設置開始日:2006年2月1日
4. 事業
  - (1)九州域内企業の技術者・技能者の精密生産技術教育
  - (2)九州域内企業の精密生産技術の向上のための研究会・セミナー・見学会・共同研究等
  - (3)その他
5. 会費(各種事業用経費)
  - (1)企業会員:2万円
  - (2)大学等公的機関会員:1千円
6. 申込方法  
精密工学会九州支部ホームページより「分科会入会申込書」をダウンロードし、メールまたはFAXで、事務局へお申込みください。
7. 連絡先・問合せ先  
熊本市黒髪2丁目39-1, 熊本大学工学部機械システム工学科内,  
精密工学会九州支部  
TEL:096-342-3762  
E-mail : [jspeB@mech.kumamoto-u.ac.jp](mailto:jspeB@mech.kumamoto-u.ac.jp)

九州支部ニュースに関する御意見・御寄稿のお願い  
支部ニュースに御意見や御寄稿などございましたら、九州支部までお寄せ下さい。

会員御勧誘のお願い  
学会活性化のために、正会員・学生会員・賛助会員の増加を計画しております。  
身近な方で精密技術に御関心のある方がいらっしゃいましたら、是非入会をお勧め頂ければ幸いです。  
入会のしおりは支部にございます。お気軽にご請求下さい。

精密工学会九州支部ニュース 第11号 2006年3月発行

発行所 精密工学会 九州支部  
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号 熊本大学工学部知能生産システム工学科内  
TEL/FAX : 096-342-3762 E-mail : [jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp](mailto:jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp)  
Homepage : <http://kyushu.jspe.or.jp>  
精密工学会九州支部ホームページにて詳細情報を公開しています。